

目黒稲門会 第147回ウォーキング部会「大山道を歩く第一回」(赤坂御門から渋谷まで)

日時：2022年4月19日(火)13時

集合場所：東京メトロ 赤坂見附駅赤坂口改札外

赤坂見附駅 ⇒ 赤坂御門 ⇒ 赤坂不動尊 ⇒ 九郎九坂 ⇒ 弾正坂 ⇒ 豊川稲荷 ⇒ 薬研坂 ⇒ 高橋是清記念公園 ⇒ (東京メトロ青山1丁目駅) ⇒ (東京メトロ外苑前駅) ⇒ 梅窓院(青山の発祥地) ⇒ 善光寺 ⇒ (東京メトロ表参道駅) ⇒ 東福寺・金王八幡宮 ⇒ 渋谷警察署前(解散)

赤坂御門：正面にある石垣は、江戸城外郭門のひとつである赤坂御門の一部で、この周辺は「江戸城外堀跡」として国の史跡に指定されています。江戸城の門は、敵の侵入を発見する施設であるため「見附(みつけ)」とも呼ばれ、ふたつの門が直角に配置された「枅形門(ますがたもん)」の形式をとっています。赤坂御門は、寛永13年(1636)に筑前福岡藩主黒田忠之により、この枅形石垣が造られ、同16年(1639)には御門普請奉行の加藤正直・小川安則によって門が完成しました。江戸時代のこの門は、現在の神奈川県の大山に参拝する大山道の重要な地点でもありました。(千代田区教育委員会)

大山道沿いの坂：赤坂見附近辺 牛鳴き坂、九郎九坂、弾正坂、薬研坂

高橋是清記念公園：明治後期の金融界の重鎮であり、大正から昭和初期まで首相、蔵相をつとめた政治家 高橋是清の邸宅跡地にある公園です。赤坂台地の高台にあたるこのエリアは、江戸時代は大名屋敷地、明治以降は高官や士族の邸宅地となってきた場所です。現在は赤坂御所や大使館、マンションの敷地に変わりましたが、豊かな緑と赤坂の歴史を感じる佇まいを残しています。

*公園の施設と設備

敷地面積約1,600坪の公園内は、趣のある庭園エリアと遊具スペースにわかれています。

青山通り沿いの入り口には、すべり台、砂場のある遊具スペースがあり、その奥は、木々に囲まれた庭園スペースとなっています。池、石橋、石灯籠のほか、高橋是清翁像や石碑などが配置され、日本庭園の趣があり、都心にいながら自然のなかの心地よい静寂と歴史、自然を感じることができます。

梅窓院：『長青山 寶樹寺 梅窓院』は、港区青山にある浄土宗のお寺です。

その歴史は古く、寛永20年(1643)徳川家康公以来の家臣、老中青山大蔵少輔幸成公が逝去の時、青山公の下屋敷内に13,247坪の地を画して側室を大檀越として建立されました。(現在の梅窓院は三千余坪)寺号は青山幸成公の法名「梅窓院殿香譽浄薫大禅定門」と、側室の法名「長青院殿天譽利白大姉」から、長青山 寶樹寺 梅窓院と名付けられました。

善光寺：信州善光寺別院。慶長6年(1601)徳川家により谷中に信州善光寺の別院として設けられましたが、火事で焼失したため、現在の青山に移されました。境内には勝海舟の撰文による高野長英の碑、明治初期に人力車を発明した和泉要助、鈴木徳次郎、高山幸助の功を伝える人力車発明記念碑があります。また、本堂には信州と同じく戒壇めぐりがあります。

金王八幡宮：1092年川崎土佐守重家の代に禁裏の賊を退治したことにより堀河天皇より渋谷の姓を賜り、当八幡宮を中心に館を構え居城とし、渋谷氏は代々当八幡宮を氏族の鎮守と崇めました。これが渋谷の発祥ともいわれています。渋谷城は、東に鎌倉街道(現 八幡通り)、西に渋谷川が流れ、北東には黒鋤谷を有し、さらに数箇所湧水があるという好条件を備えていました。しかし、大永4年(1524)1月13日に起きた、北条氏綱と上杉朝興の高輪原の戦(現 品川区高輪付近)で、渋谷氏が交戦中だった北条軍の別動隊により襲われ焼き払われてしまいました。現在、境内に渋谷城砦の石が保存されています。

渋谷氏が武蔵谷盛庄七郷(渋谷、代々木、赤坂、飯倉、麻布、一ツ木、今井など)を領していたので、当八幡宮は八幡通り(旧鎌倉街道)、青山通り 宮益坂 道玄坂(旧大山街道)を中心とする、渋谷、青山の總鎮守として崇められています。